

件名	平成 28 年度 第 1 回松崎地区駅前活性化協議会
日時	2016 年 10 月 20 日(木)19:00～20:30
場所	湯梨浜町中央公民館 第 2 研修室
出席者 (敬称略)	松崎地区駅前活性化協議会委員 11 名(谷口 則子、高野 信雄、上治 百合子、本庄 正志、川崎 善和、岸田 雅也、速水 敏人、北村 和典、河本 定幸、山根 義人) (欠席者 2 名:立木 肇、安部 雅人) 湯梨浜町役場みらい創造室 山根副町長、岩崎室長、船木係長 地域おこし協力隊 新田、辺(記録)
決定事項 (合意事項)	
次回までの 調整事項	
配布資料	①松崎地区駅前活性化協議会 レジユメ ②協議会説明資料
1. 開会	
2. 副町長あいさつ	4 月より地方創生担当として国土交通省より赴任した。 3 月に策定された鳥取県湯梨浜町モデルプランの計画に、町営住宅の活用、松崎駅前拠点の活用、空き家の活用の取り組みが挙げられている。それに関連して、松崎駅前地区の検討を協議会で行っていただくこととなった。協議会には、公募の方や区からの推薦いただいた方々に入っていた。住民主導の行政参加型で、長年継続できる取り組み、事業の検討をしていただきたい。
3. 委員紹介	それぞれが、自己紹介
4. 会長、副会長の選出について	1)規約の説明 2)規約に沿って会長、副会長の選出 (速水)会長に立候補 (一同)賛成 (会長)副会長に本庄氏を推薦 (一同)賛成 (会長)CCRC という難しいテーマではあるが、地域資源を活かしながら松崎全体を楽しく活性化させていきたい。住民主体の町づくりにご協力いただきたい。 (副会長)普段は松崎地区の活性化推進委員をしている。仕事と両立しながらご迷惑をおかけするかもしれないが、一緒に活性化を進めて行きたい。
5. 議事	1)協議会発足までの経緯説明について (事務局)①「生涯活躍のまち」の説明:湯梨浜町の人口が 2060 年には約 1 万人(現在 1 万 7 千人)になると言われているが、1 万 2 千人ほどに抑えるために、都市部からの移住促進、町の活性化を進めたい。戦略の 3 本柱として、「活力ある元気なまち」、「安心して暮らせるまち」、「住民主体のまちづくり」をあげている。 ②住環境の整備:サ高住の整備(ミドーレイク跡地、羽合臨海公園北側など)の検討、松崎地区の利活

用、A コープの活用、松崎地区の町営住宅の移行等

③地域包括ケア: 官民連携、施設・在宅サービスの充実、生活支援の充実

④羽合エリア: 子育て支援の充実、泊: 小さな拠点づくり、東郷: 商店街、駅前の活性化

⑤まちづくり会社を並行して設立し、協議会の内容を反映させながら事業を展開

(事務局)CCRC(Continuing Care Retirement Community: リタイア後に継続して健康に、楽しく生活するコミュニティ)はアメリカで生まれたが、日本ならではの「生涯活躍できるまちづくり」をしようという方針を国が打ち出している。元気な高齢者が中心となり、地元の方、移住者含めて活性化していこうという内容です。

泊地区でも同じように協議会を開いており、「小さな拠点づくり」を検討し始めている。泊も東郷も急激に人口が減っているが、そのスピードを緩める方法を考えていかなければいけないということで、このような協議会を設立した。松崎での取り組みをモデルケースとして羽合、泊につなげていきたい。住んでいる方の意見の中でどういう方向に進むべきかということ話し合っていたきたい。町全体として生涯活躍のまちを進めていきたい。

(会長)ミドレーイクホテル跡地の話などはあくまでも案であって、我々が意見を出し合いながら検討を進めていきたい。

(委員)資料が見えにくいので、改めて作成していただきたい。

(委員)CCRC は町全体で考えて、協議会では駅前の話を進めていくという認識でいいのか。

(事務局)生涯活躍のまちづくりは町全体で進めていく予定だが、その中でも重要な地域包括ケアについては、介護予防から在宅ケアなど連携をとりながら進めたいという動きがある。また、移住も並行して進めたいし、サ高住も検討している。それを進めるために、それぞれの地域の活性化をしたい。

(会長)基本的には松崎駅前の話だと思っている。

(事務局)ここでの動きをモデルにして進めたいということ。

(委員)何を売りにするかが問題だ。

(事務局)それについて今後話し合ってください。

(事務局)まず、駅前の商店街エリアの活性化を検討いただきたい。松崎地区の人口は地区差もあるが、10 年で 112 名減少している。また、65 歳以上の割合が 34%を占めている。

(委員)何年先にはどのくらい人が減ると言う数値はあるか。

(事務局)推計は出ている。

(会長)協議会の役割は何か。

(事務局)課題、資源などを抽出し、その意見を集約しながら活性化プランを作成、実施していきたい。まちづくり会社とも連携しながら進めていきたい。

(会長)まちづくり会社設立の見通しはどのようになっているのか。

(事務局)日曜日に商工会の会員向けに出資説明会を実施した。速い段階で設立を勧めたいと考えている。

(委員)このメンバーだけで話し合いをするのか。よどやなどで簡単なアンケートなどを集めてみてもいいのはいか。色んな世代、身体状況の方などの意見を取り入れていくための情報収集もしていきたい。PTA など、保護者などの意見も取り入れたい。

(会長)委員だけでなく、できるだけ多くの意見を収集することもいいと思う。その方向でよいか。

(一同賛同)

(委員)先進事例を知る必要がある。松崎でも、若い世代の移住者があることはとても喜ばしいことで、彼らの存在を大事にしていきたい。生業の話で言えば、色んな仕事をしている人があるが、地産地消の意識を高めていく仕組みづくりが必要。地元のを大事にするという意識を持ってもらいたい。

(会長)先進事例の視察は可能か。

(事務局)日帰りであれば可能だと思います。

(委員)泊の協議会内容でヒントになるようなものはあるか。

- (事務局)まだ 2 回の実施なので、現段階では良い所、問題点を挙げ整理した、という状況です。
- (委員)先進事例は挙げていただけるか、まずは資料でも用意していただきたい。
- (事務局)後日配布することは可能。商業活性化などはあるが、駅前活性化事例は少ない。
- (会長)町を挙げて CCRC を進める事例は現段階では少ないようだ。
- (委員)CCRC の話であれば、南部町がそうだと聞いている。
- (事務局)確かに、国が挙げている CCRC7 事例に南部町もあるが、湯梨浜とは状況や環境が少し違う。
- (委員)A コープはどのように変えていく予定か、すでに賃貸契約するとか、買ったという話を聞いた。
- (事務局)まだ、賃貸や買うことも確定していない。皆さんで話合っ、どうして行くか案を出していただきたい。
- (委員)町の合併前にも活性化委員会があり、駅周辺の土地を使って物販などを検討したが、頓挫した。案が出てきたら、町が進めるのか、まちづくり会社が話を進めるのか。
- (事務局)町も一緒に方向性を考えて行きたい。
- (委員)役場、まちづくり会社、協議会の立場が良く分からない。
- (副町長)例えば、町営住宅など公的なことに関してまちづくり会社は関与しないが、店舗出店など営利事業は会社に関係する。
- (委員)役割を分けるということで認識した。

2) 今後の進め方について

(会長)※資料配布

松崎地区の活性化に向けて、各委員が幅広く意見を拾う（アンケート等）⇒第 2 回でまとめる。

泊ではどのように整理したのか

- (事務局)聞ける範囲で良い所、問題点を拾っていただいて、整理した。
- (委員)その方法でいいと思う。皆さん色々な意見を持っておられるので聞いたほうが良い。
- (委員)その通りだが、若い世代の意見も聞く必要があるので、意見を聞きに行くか、協議会に入っていた方がいいと思う。高齢者が悪いというのではない。高齢者に合ったコミュニティを作ることも大事だが、「活性化」というのであれば若い方の意見も聞く必要がある。
- (委員)協議会委員は、今後も増やしていいのか。
- (事務局)問題ない。
- (委員)PTA の方や若い人に入っていた方がいい。
- (会長)若い人に入ってもらおうよう働きかけることにしよう。
- (委員)若い世代がまちづくりに関わらないことが、人口減少に繋がっている。
- (事務局)泊の場合は公募の方の中に 30 代～50 代前半の方が多く、区長がオブザーバーとして入った。区長の方が年齢層が高く、ご意見をいただく形です。
- (事務局)どのような方法で入っていただくのか。
- (委員)一本釣りがいい。公募してもなかなか入らない。この人だ、という人に直接声をかける方がいいと思う。
- (委員)出来るだけ長く続けていただける若い世代の方に入っていただきたい。
- (会長)カードを配布するので、そこに松崎の良い所、課題を書いてきていただきたい。
- ※ 緑:魅力、オレンジ:課題、1 枚に 1 項目
- (委員)私は上浅津に住んでいる。上浅津からしたら、昔は松崎といえば都会のイメージだったが、今は何ともいえない。
- (会長)是非、外にお住いの立場から考えていただきたい。中興寺では役場から、役員向けの説明の機会があった。
- (委員)どのような動きをしていくのか説明を受けた。個人的な考えとして、松崎と中興寺は近く、同級生も多いので協力したほうがいいと思う。

(委員)これ以上過疎地になっても困るし、どうしたらいいのかな、と興味を持ったので応募した。

6. その他

(会長)今後のことになるが昼間に集まることも可能か。

(委員)若い人にも来てもらおうと思ったら無理だ。夜に設定したほうがいい。

(会長)12 月には懇親会もしたい。当分月 1 度、1 時間半～2 時間の予定で進めていく。

(副町長)新しい委員の推薦はいつになるか。

(委員)早い段階で声をかけていくつもりだ。

(会長)河本さんの協力をいただきながら進める。

(副町長)必要であれば個別に協議会についての説明に伺う。

(会長)委員さんの協力をいただいて早急に進めていく。

7. 閉会

[次回開催:11 月 29 日(火曜)19:00～ 中央公民館]

以上